

女性と若者による 新しい取り組み



気仙沼市

一般社団法人まるオフィス

移住定住、まちづくり

唐桑をつなぐ地域“協”育と移住定住プラットフォーム

気仙沼市で立ち上げられたまるオフィスは、震災を機に気仙沼に移住した若者と地元の若者が平成27年に設立したまちづくりの会社です。「地域協育」と「移住定住推進」を軸に、まちづくりサークル「からくわ丸」の運営サポートを行うとともに自走化を促す活動、移住者を誘致するためのショートステイ・ロングステイプログラムの実施、既存の移住者が中長期的に地域づくりに関与しながら定住できるようなワークショップの開催等により、「地域に自分ゴトを」という理念で、気仙沼のUIターン率と人材力を向上させる活動をしています。

震災復興の再生期を迎えた被災地のまちでは、被害を乗り越え新たなステージへ向かう、女性や若者による新しい取り組みが行われています。



石巻市

一般社団法人はまのね

地域活性、移住定住

地域資源を活用した人を繋ぐものづくり

津波で被災した石巻市の牡鹿半島蛤浜にある築100年の古民家で、「Cafeはまぐり堂」を運営しています。地元産の海産物やジビエを使ったメニューが揃い、また、窓からは海とともに集落の復興を眺めることができる古民家カフェです。「魅力ある浜の新しい暮らし」「伝統と革新」「石巻の資源発掘と発信」をテーマに、一次生産者、加工者、地元作家(デザイナーや母親たち)、地域資源を生かしたものづくりをしている人と連携した、商品の販売・開発も行って、多くの人を集めています。石巻の魅力を発信し続ける、地域活性の原動力となっています。

一般社団法人ISHINOMAKI2.0

起業支援、移住定住、まちづくり

石巻を世界で一番面白いまちに

「石巻をバージョンアップしたい。震災の前のまちに戻すのではなく、新しい未来を作りたい」という思いから生まれた石巻市の団体です。地域住民や新規移住者及び来訪者に対して、まちの資源や人的な資源を繋げる「まちのロビー」としての役割を果たすオープンシェアオフィス「IRORI石巻」や「復興パー」、本のコミュニティスペース「石巻まちの本棚」を運営しています。そのほか、石巻最大の祭りである「石巻川開き祭り」の前に、震災復興の先にある可能性を集めたイベントSTAND UP WEEKを開催する等、常にまちづくりの中心となっています。



石巻市

特定非営利活動法人ウィメンズアイ

人材育成、自立支援

女性が活躍できる社会に…交流を生み出す講座運営

震災の被災地である県北沿岸部、主に南三陸町を中心に、「くらしを見つめる女性の視点は、安心・安全な社会づくりに繋がる」という思いで女性のための様々な講座を運営し、交流を生み出しています。講座は2年間で160回開催、地域住民の参加者は1,861人で、講師やボランティアを含めるとのべ2,444人が参加しました。ほかにも、課題解決を目指す当事者グループを育成し、地元の女性が主体的に活動していくことをサポートする中で、「シングルマザー親子の会」、「南三陸まなびの女子会」、「手づくりマルシェの会」等が発足しました。



南三陸町
登米市



気仙沼市

特定非営利活動法人Cloud JAPAN

交流人口増加

宿泊客と地元住民の「架け橋」交流を生むゲストハウス運営

「被災地気仙沼から第二の故郷気仙沼へ」という思いから、気仙沼市の階上にある民家を改修しオープンしたゲストハウス「架け橋」を運営しています。宿泊施設は若者等が宿泊しやすい価格に設定されており、また、昼は親子や地域住民が集まる絵本カフェ、夜は宿泊客と地元住民が交流できる居酒屋、ほかにも近隣の住民が育てた野菜を売る朝市を開催する等、地域住民と宿泊者同士の交流機会を創出しています。そのほか、「世界中の人が誰かのために何かをする喜びを楽しみ続けることができる世の中にする」ために、様々な場づくりをしています。



亶理町

株式会社WATALIS

人材育成、自立支援

「みやぎらしい女性の就労モデル」の持続と拡大を目指して

WATALISは、たんに眠る古い着物地をリメイクし、再び世に送り出す「アップサイクル」に取り組むブランドです。亶理町の女性たちが、着物地の色や柄を活かしながら1点ずつ丁寧に手づくりし、長い歴史の中で培われてきた日本の意匠の美しさに新たな命を吹き込んでいます。被災地での女性の就労支援となっており、持続発展による経済活性化が期待されています。そのほか、グループ法人の一般社団法人WATALISでは、被災地住民等を対象にした交流の場を創出するための事業として、手しごとワークショップや茶話会を定期的実施し、開かれた交流の場を開設しています。